

# おお大勝利

平成 30 年度山東サッカー一部報第 4 号 (5 月 11 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## Y2A 羽黒Bに逆転負け

4 月 30 日 (月) の振替休日、Y2A 第 4 節羽黒 B 戦が山形市球技場で行われました。羽黒 B は Y2A の優勝候補の一角。**山東も前期優勝をとりあえずの目標としている**だけに、引き分けはあっても負けは許されない。羽黒高校は昨年、全国高校サッカー選手権に出場し、県新人でも優勝している。何より、選手権でも 1・2 年生の選手が主体であった。ということで、戦力の充実している強豪。しかし、今回の相手はその B チーム。「B とはいえ強豪の B」とも言えるが、A ならまだしも、(一応) 県でトップを目指している山東だけに、**B には負けが許されない**。そういう意識はある。

試合には**清野後援会名誉会長(総監督)、工藤先輩**、そして**我らが報道局長**がいつも通りいらっしゃる。そしてこの試合に、**後援会現会長で山形県サッカー協会専務理事の岸さん**もお見えになった。多数の保護者も応援にいらっしゃった。確か多数の OB も来てくれた<sup>1</sup>。ピッチ条件も、気候も、人も、申し分なし。あとは選手が頑張るだけ。

試合が始まると、羽黒の丁寧なビルドアップが目立つ。山東はそれを予期し、前からプレッシャーをかけるも、プレスがかからないときの(はめられないときの)対応も我慢強く、しっかりできている。**羽黒 B 戦、県総体で強豪と戦う際の良い練習になっている**。顧問としては、もう少し前から制限をかけて、アグレッシブに行ってボールを奪いショートカウンターを仕掛けてもらいたいが、単純に速く走れない選手がおり、前から行ききれていない。これは仕方がない。**いつもの、または狙いのフラン A がうまくいかないときのフラン B も、チームにはなくてはならない**。いずれにしても悪いのは、チームとして守り攻めることができず、選手が孤立して守ったり攻めたりすること。**守るも攻めるもコレクティブ(集団的)でなければならない**。ともかく山東、前から行くか行かないか、チームで意識を共有できている。守りだけでなく、山東も**オフザピッチだけでなくオンザピッチでも中心選手の風格出てきた 3 年 FW タカヒラ**を中心に攻め、決定機を作り出している。特に思い出されるのが、CK を**得点王 1 年 CB ヤグチ**がドンピシャヘッドで捕らえ叩きつけるも、GK の足元に飛んでしまい、逸機となったシーン。あれは惜しかった(ヘディングした段階では得点を確認しましたが)。逆に、羽黒の CK では、**ホタテマンのものまねは固辞したとされる 3 年 GK ホタテことソウ**が、前に出てキャッチするシーン多し。**ホタテ、良い意味で調子に乗ってきた!** そんな五分五分の展開のなか、タカヒラがドリブルから右足を振りぬくと、**GK が一步も動けないファインミドルシュート**となり、山東先制。相手 GK は味方の選手がブラインドとなり見えなかったのだと思いますが、いずれにせよ素晴らしい一弾だった。ボールポゼッションで羽黒、勝負強さで山東といった前半は、そのまま 1-0 のスコアで終了。

しかし、後半になると、羽黒の猛攻に守備の対応が遅れ、羽黒の選手を自由にさせてし

<sup>1</sup> ちょっと誰が来たか忘れたので、HP の写真でご確認ください。

まい、羽黒の攻撃に振り回されることが多くなった。山東にも決定機はあったものの、それよりも**守れず、やられ放題になった印象がある後半**。開始 10 分経たずに、相手のダイレクトな攻撃にあっさり裏を取られ同点にされると、その後もドリブルで簡単にゴール前まで侵入を許し、何度か羽黒の決定力に助けられ逆転されずにいましたが、後半の中盤すぎに、やはりドリブル突破から逆転ゴールを許す。そして、その 6 分後、山東の守備の建て直しははかられる前に簡単にドリブル突破され、GK との 1 対 1 を制され、1-3 へ。その後、さらに崩れるかと思いましたが、**少しずつたくましくなってきた山東、ポランキの 3 年キクチャン**が 1 点返し、2-3。結局そのスコアで試合終了。

山東の得点機もあり、2-3 が 3-3 や 4-3 になってもおかしくはない試合ではありました。しかし、それ以上に、2-3 が 2-4 や 2-5 になってもおかしくはなかった。**山東は、体調不良の選手を起用し続け、引張った監督の責任が大きい**。もっと早く守備の修正をはかることができたはずでした……。とはいえ、監督の責任が大きいということは、選手は力を秘めているということ。最後に一点返したことも含め、**敗戦も必ずしも悲観してばかりの試合ではありませんでした**。強がりではなく、県総体への良い教訓となった試合となりました。応援ありがとうございました。次は地区総体です。良い形で県総体につながる戦いをしたいと思います。応援よろしくをお願いします。

**5月12日(土) 地区総体 山形南戦 9:30~@山形市スポーツセンター北**

**それに勝つと、同日 東海大山形戦 14:15~@同上**

**それに勝つと、13日(日) 決勝 13:00~@同上**

## Mリーグ 2勝で県総体出場決定

そして、GWのMリーグ。5月3日山工、5月5日明新館の予定。まず、山工戦。ものすごく簡単にレポートし、下の3年カサコーのレポートに任せたいと思います。山工戦は、前半**得点王1年CBヤグチ**がCKから先制ヘッド……ではなく先制ボレーを決めて、先制。もっと得点機ありましたが、決定力を欠く。後半は山工がダイレクトな攻撃を徹底。山東DFの不安定さが露呈。**かなり苦しめられました。が、何とか逃げ切り、1-0で勝利**。そして、5月5日雨のため会場の山商Gがサッカーの出来る状態ではなく、翌日に順延となる。私は所要のため、明日は休むと告げ、采配を高橋コーチに任せ、レポートを3年カサコーに任せました……。

いつも山東サッカー部報をご愛読されている皆様、こんにちは。今回は、監督、今野先生の不在の為……と言いたところですが、そうではなく時間通りにいらっしやっていたのにもかかわらず、結局代わりに書くことになった**最近前髪に力を入れている3年SBカサコーことカサハラ**がお送りします。

5月6日(日)Mリーグ2戦目VS上山明新館戦が行われた。本当ならば5月5日(土)に行われるはずだったのだが、雨天の為中止となってしまった。選手達もその日に向けてモチベーションを上げていた為、中止と聞いて調子が狂った選手も多かったと思う。だがそれは相手も同じでそんなことを言い訳にはできない。なぜなら**今回の試合は県総体出場のかかった大事な一戦**だからだ。我々の冬期間のトレーニングでの成長、そして土壇場でこそ発揮される勝負強さを見せ、勝利を掴み、応援にいらっしやった**清野名誉会長、工藤先輩、後藤**

**報道局長、岸 OB 会長の「いつもの御四方」**をはじめ、多くの保護者、OBOG の方々を安心させたい。

試合開始のホイッスルが鳴る。ここ最近の山東は前半の入りの悪さが課題になっていたが、今回の試合でもその入りの悪さが目立った。敵陣でボールを保持する時間が長かった山東だが、短いショートパスがずれたり、簡単に収められるボールを弾いてしまったり、絶対に通らない緩いパスをしたりと、イージーミスが続きなかなか決定的なチャンスを作れず、いまいちパツとしない試合展開になった。だが、この緩い試合展開を断ったのが、**我らが 3 年 FW ワッシュイタカ J ことタカヒラ**だ。ビーチ<sup>2</sup>で FK をもらおうと、審判が笛を鳴らさなかったそのわずかな隙についてゴール右端へ直接シュートを狙った。不意に放たれたシュートに相手 GK の反応が遅れ、枠をとらえたボールは山東に大きな先制点を与えた。これを皮切りに、山東が自分たちの流れを作り出した。**2 年 FW オサ**が左サイドへボールを運び、なかにいる **2 年左 SH アキシン**に合わせ、相手 DF を背負った状態から相手と入れ替わる鮮やかなターンを決め、そのまま打ったシュートがゴールに吸い込まれ、山東に追加点をもたらした。その後も **1 年右 SB ユッキー / カクタことツノダ**が高い位置でボールを奪い、その流れのままシュートを打ったり、タカヒラがバイタルでボールを受け、左足からの強烈な弾丸シュートを放ったり、**メロンパンに目がない 3 年ボランチキクちゃんことリョウタロウ**の華麗なドリブルでゴールに迫ったりと果敢に攻め続け明新館を脅かし、2-0 と良い流れで前半を終えた。

そして後半。ハーフタイムにしっかり休憩をとり、再び集中し直した選手たちの後半の入りは悪くない。ファーストの競り合いではパワーを持ったヘディングで競り勝ち、1対1の局面でも体を入れて奪いきったり、インターセプトでボールを搔っ攫っていったりと前線からハメてボールを奪うというディフェンスのスタイルが決まり、相手にほとんどボールを持たせない。しかし、優位にゲームを進めていた気の緩みなのか、自分たちのイージーミスで相手に一気にカウンターを受けピンチになるというシーンが多く見られた。そのせいで、再びボールが落ち着かない時間が山東に流れた。だが、ここで悪い流れを断ち切ったのが **1 年 CB 得点王ヤグチ**だ。**2 年左 SB / 7**のコーナーに得意の頭で合わせ、きれいなヘディングがきまった。本当に素晴らしい。そして再び山東の流れが戻ってきた。ほとんどの時間大喜欢的人<sup>3</sup>でプレイしていた為、さらに追加点がきまった。また途中出場で **3 年 FW バサシことババ、最近女癖の悪いお祭り男 3 年左 SH ミヤガワことカスマサ、最近宮川に女好きの名を奪われそうになっている 3 年右 SH キムタクことキムラ、2 年 CB ダイキ**、そして**私カサハラ**が連続して交代した。その後、**ミヤガワ**が猪突猛進してゴールへ迫る気迫に負けた相手 DF からファールをもらい PK をゲット。これをしっかりきめ、試合終了。5-0 で勝利し、県総体出場を決めた。

今回の試合では、前半の入りの悪さ、パスミスなどのイージーミスからのピンチが目立った。前者についてはここ数試合のほとんどで言われてきていることで、試合前や試合中の味方同士の声掛け、ひとりひとりの試合に向けての高い集中力、また日々の練習での試合への意識といった「準備」をしっかりすることで改善できる。後者は、これから県総体で戦っていく上で、本当に力のあるチームと当たる場合はその隙をつかれて羽黒 B 戦のように負けてしまうだろう。そのため、この最後の 1 ヶ月は細部にまでこだわって 1 日 1 日を大切

<sup>2</sup> これは、どういう意味の表現でしょうか？ わかりません。ピッチ？ だったらピッチ内で FK をもらうなんて当たり前すぎる。

<sup>3</sup> これもよくわかりません。カサコー語なのか、変換ミスなのか。的人は敵陣の変換ミスか、彼流の感じ間違えか。

にして練習していかなければならない。次の試合は地区総体であるが、ここでは今回の課題を残したまま臨むことがないようにしたい。

次の地区総体も応援よろしくをお願いします。

## 保護者会激励会 賑やかに挙行さる

4月28日（土）山形東高校のPTA総会等の後に、保護者会主催の総体激励会並びに新入生歓迎会がメトロポリタン山形で開かれました。スピードスケート金メダリストの小平選手の話を引き合いに出しながら、**サッカーを通じて豊かな人間性を育て欲しいという馬場保護者会長のスピーチ**、そして監督の今野の話の後は、**石原さんによる乾杯**。宴会進行中、来賓の**清野後援会名誉会長、岸会長、後藤報道局長、芹川トレーナー、橋本歯科医、高橋コ一**から話を頂戴する。

その後は、恒例の1年生の芸。今年は一発芸的なものではなく、長い構成のコントが目立つ。内容は忘れましたが、うまいグループのも準備不足のグループのもどちらも面白かった。そして恒例と言っているでしょう、**3年生なのに準備してきた3年タカヒラのモノマネ芸。何と清野名誉会長のモノマネ！** そりゃ確かにここでしかできないよな。会場を爆笑の渦に巻き込んだのは言うまでもありません（しかし、その後、試合前に行われる清野さんの選手への檄のあり方に影響を与えたとも言えます）。

最後は、**3年マネレナ保護者の秋葉さんによるエールで締め**。2次会も楽しく参加させて頂き、選手ともども活力を頂戴しました。保護者の皆さま、ありがとうございました。